

令和5年度に係る自己点検・評価の報告書

令和6年6月26日

部局名：ヘルスシステム統合科学研究科

1. はじめに

ヘルスシステム統合科学研究科では、令和5年度に係る教育課程・学生支援・学生受入、研究、総務を対象とする自己点検・評価を実施し、以下のようにその結果を報告する。

2. 実施体制・手順

教育課程・学生支援・学生受入については、学務委員会委員長（教育担当副研究科長）と学務課大学院担当職員で協議・連携して根拠資料を収集し、学務委員会において確認・承認を行った。

研究については、研究倫理教育の実施記録を事務部で収集した。

総務については、教員選考に関する内規、専任教員調書等を事務部で収集した。

これらの資料に基づいて、研究科長室会議での確認・承認を経て教授会において自己点検・評価を実施した。

3. 総括

ヘルスシステム統合科学研究科では、令和5年度に係る教育課程・学生支援・学生受入・総務の項目については全て適切、研究の項目については注意が必要であると判断した。

4. 前年度の点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（前年度の点検・評価実施時点で対応済のものを除く。）の対応状況

該当なし。

5. 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項のうち主要なもの

該当なし。

6. 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題のうち主要なもの

該当なし。

7. 点検・評価の結果、「注意が必要」とした事項に対し、維持・向上させるための活動計画のうち主要なもの

研究倫理教育を受講していない者がみられたため、研究科教授会での周知や未受講者・指導教員への個別メール送付等により受講を完了するように対応を徹底する。

8. 点検・評価の結果、優れた成果が確認できる取組のうち主要なもの

該当なし。